

審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針について

建設緑政 局

審議対象事業	都市基盤河川改修事業（五反田川放水路）
所管課	道路河川整備部河川課
審 議 結 果	
<p>評価結果及び事業をめぐる状況等を総合的に勘案し、平成23年度再評価対象事業について、「継続」が妥当と判断</p> <p>【付帯意見】</p> <p>大規模な公共事業の推進に際しては、事業の必要性等について、様々な角度からの説明が求められる。当該事業についても、川崎市の河川全体の整備計画や目標の中での当該事業の位置付け、事業の必要性、妥当性、処理能力の根拠、事業上の課題への対応などについて、事業の進捗状況等の段階に応じて市民説明会を開催するなど、市民に対してより分かりやすい説明及び周知を十分に行いながら進めていく必要がある。</p> <p>また、放水路が完成することにより、治水安全度の向上が図られることとなるが、防災意識の重要性に変わりはないことから、市民に対して、ハザードマップを活用した説明を行うなど防災意識の高揚に努める必要がある。</p>	
事業継続にあたり、審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針	
<p>五反田川放水路整備事業は、市民の生命と財産を守るための重要な事業であることから、事業の進捗状況等の段階に応じて開催される工事説明会や、市民や学校等を対象とした現場見学会などを通じて、事業の必要性、妥当性、効果等について、より分かりやすく説明し、事業に対する理解が得られるよう努めてまいります。</p> <p>また、五反田川放水路が完成することにより、放水路分流部下流域の五反田川及び二ヶ領本川の治水安全度の向上が図られることとなりますが、平成23年9月の台風12号により、紀伊半島の一部で時間雨量131.5ミリを観測するなど、計画降雨量を超える雨が降ることも考えられることから、多摩川洪水ハザードマップ等を活用し、日頃の風水害に対する備えについて、ホームページ、工事説明会及び現場見学会等を通じて説明を行ってまいります。</p> <p>さらに、五反田川放水路施設の供用開始後につきましても、市内のイベントなどを通じて、市民の防災意識の高揚に努めてまいります。</p>	